

愛犬・愛猫の
写真を貼ってね!



避難所での飼い主の対応

避難所は動物が苦手な人、アレルギーを持つ人など様々な人が同時に暮らす場所となります。

普段よりも周囲に配慮し、同時にペットにストレスをかけないように心がけましょう!!

- 🐾 排泄物はすぐに処理する
- 🐾 ペットの毛が飛散しないよう注意する
- 🐾 避難所運営者の指示に従ってペット飼育のルールを守る

※同行避難とは

避難行動を示す言葉であり、避難所などでペットを人と同室で飼育管理することを意味するものではありません。

平常時のしつけ等で困った時は

日南保健所 0987-23-3141 都城保健所 0986-23-4504
小林保健所 0984-23-3118 高鍋保健所 0983-22-1330
日向保健所 0982-52-5101 延岡保健所 0982-33-5373
高千穂保健所 0982-72-2168
宮崎県動物愛護センター 0985-84-2600
宮崎市動物愛護センター 0985-85-6011 (宮崎市にお住まいの方)



このパンフレットを
☑️チェックの上、
防災バッグに
入れておきましょう。

宮崎県

名前:

種類: 毛色:

性別:

生年月日: 年 月 日

マイクロチップ

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

かかりつけの動物病院

名前:

☎:

飼主情報

名前:

住所:

連絡先:



飼養場所の防災対策

飼養場所が安全かの点検が大切です。

- ☐ 家具の固定
- ☐ 飼養場所の周囲の安全性
- ☐ ガラスの飛散防止対策や補強

防災用品の準備

動物用の防災用品

- ☐ リード ☐ 首輪
- ☐ 食器
- ☐ 5～7日分のペットフード
- ☐ 5～7日分の水
- ☐ キャリーバック
- ☐ ペットシート
- ☐ ゴミ袋、ビニール袋
- ☐ タオル
- ☐ 常備薬、療法食
- ☐ 毛布、バスタオル
- ☐ 手入れ用品



安全確保と同行避難

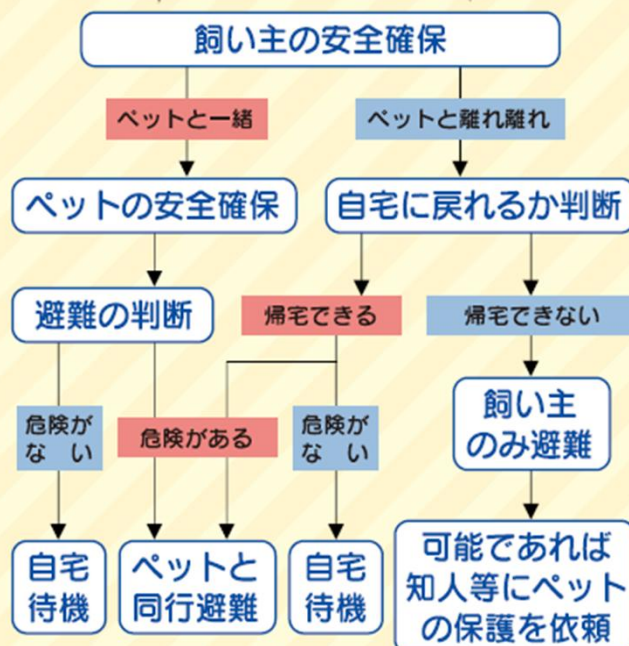
災害が発生したらまず、自分の身の安全を確保し、落ち着いてから自分とペットの安全を守りましょう。

- 情報を集めて避難所への避難が必要かを判断する。
- 犬はリードか胴輪を付ける。
- 猫や小型犬はケージかキャリーバックに入れる。

災害発生時のフロー



災害の発生



普段からしておくこと



- ☐ 健康管理としつけ
(ケージに慣れる・無駄吠え・排泄の仕方)
- ☐ 地域でのコミュニケーション
- ☐ 玄関先に犬猫在住ステッカー
- ☐ 防災グッズを試しておく
- ☐ ノミ・ダニの駆除
- ☐ ワクチンの接種
- ☐ 家族との連絡方法
- ☐ 避難訓練への参加



所有者明示

動物と離れ離れになった時に所有者明示があることで、飼い主の元に戻ることができます。

- ☐ 鑑札や狂犬病予防注射済票(犬のみ)
- ☐ 迷子札
(飼い主の氏名、連絡先、住所等を記載)
- ☐ マイクロチップ